

春期連休工事に際してのお願い事項

平成23年春期連休工事〔4月29日(金)～5月5日(木)までの7日間〕を迎えるに当たり、会員会社のトップ自らのリーダーシップを発揮して、計画段階からのリスクアセスメントと低減対策が確実に実施できる工事管理体制の構築と、作業員一人ひとりまで安全に関する意識付けをしていただき、安全作業の遵守をお願いいたします。

工事責任者・作業責任者は、その役割と責務を明確にするとともに能力向上に努め、工程変更・異常時には『止める・呼ぶ・待つ』が実践できる強い意志と体制の構築をお願いいたします。

一記一

労働災害防止の重点項目(STOP6+ α)『墜・転落、感電、挟まれ、重量物、車両、火災・高熱物、酸欠』の危険要因を徹底的に排除する

1. 徹底した安全な作業管理を行う。

- 1) 事前打合せと現地・現物で確認したリスクアセスメント(危険度評価)結果を織り込んだ工事計画を策定し確実に実践する。実践のフォローとして5段階での作業開始前TBM(ツールボックスミーティング)で再確認しあう。
- 2) 作業・工程変更時は、まず作業を止める。作業計画の見直しを実施し、リスクアセスメントとリスクの低減を図った後、作業を再開する。

2. 重点項目の危険要因(STOP6+ α)を徹底的に排除する。

- 1) 高所作業時は、安全な作業床を確保する。確保出来ない場合は、安全ネット及び親綱を張り、2フック安全帯を確実に使用する。
- 2) 活線作業は禁止する。スイッチ切(停電)の確認は2人以上で行い、検電も必ず実施する。
- 3) 設備内作業時はロックアウト運用ルールを実践・徹底する。
- 4) フォークリフト作業では積荷の落下防止を確実にを行い指差呼称等、細心の注意により安全な運転を実施する。
- 5) 高熱物を取扱う作業は保護具・用具等の適正な使用と作業手順を遵守する。
- 6) 決められた歩行帯を通行し、歩行中も作業同様に周囲の状況を確認する。
- 7) 上記のほか、自社特有の危険要因を徹底的に排除する。